

踏切安全通行カルテ

よみがな	いなべがいでう ・ ますおだいごう				道路名	国道421号					
踏切道名	員弁街道 ・ 益生第1号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	関西線 ・ 名古屋線					
所在地	三重県桑名市大字矢田				(鉄道事業者名)	東海旅客鉄道 ・ 近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	20.2	左道路	3.3	6.0	3.3	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	9.5	0.0		幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	3	右道路	0.0	6.4	2.9	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-			
	交差角(度)	71	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				跨線橋	20				起点寄有り	102	
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)							踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和	
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
	左道路	-	起点寄(左)	終点寄(左)	-				-		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		特になし					
	道路交通事故	2	0	H21：車両相互(自動車×自動車)×2件							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ`-`ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S45
	-	-	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	S46
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないこと、また隣接して歩行者用の跨線橋が設置されていることから、現時点で対策を行う予定はありませんが、交通誘導などを周知しつつ、今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、各鉄道事業者と協議を進めていきます。										
備考 (協議状況等)	-										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	つしまちだい7ごう・こうえんまえ				道路名	市道 栄町広明町第1号線				
踏切道名	津新町第7号・公園前				(道路管理者名)	津市				
所在地	三重県津市羽所町				鉄道路線名	名古屋線・紀勢線				
					(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道・東海旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -		
	踏切長(m)	19.5・20.0	左道路	0.0・2.5	6.0・7.4	0.0・2.4	歩車道分離方法	白線・黄線		
	横断本数(本)	4	踏切道	0.0・0.0	8.4・7.9	0.0・0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	交差角(度)	78・73	右道路	2.1・1.9	6.0・6.4	2.1・1.4	迂回路(自動車)	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-	
	道路 線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		種類	距離(m)	
	右道路	直線	地下道/その他		156	両方共なし	-			
			直近のBF化 迂回路		距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り		
			地下道	170	両側にエレベータ等					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-		
	自動車 ^ホ トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-		
	歩行者 ^ホ トルネック踏切	○	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)			自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)		
		左道路	-	起点寄(左)	終点寄(左)	-	-			
		右道路	-	起点寄(右)	終点寄(右)	-	-			
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-			なし			
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	-	-	-	光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	-	除却 年度	-	踏切道の交通量軽減を図るネットワーク対策 (調整中)			完了 年度	-	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該踏切については、北約150mに津駅東西横断通路や、南約180mに歩行者用踏切(吉田山踏切、津新町第6号踏切)、南約370mに主要地方道津関線の跨線橋があり、自動車、歩行者の通行は他の路線によって補完されており、また現在拡幅を計画している大谷踏切(当該踏切から北約600m)の改良により交通量の分散を図る。									
備考 (協議状況等)	平成26年度より大谷踏切の拡幅について道路管理者と鉄道事業者と協議を開始。									

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	つしんまち ・ つしんまちだいごう				道路名	国道 163号					
踏切道名	津新町 ・ 津新町第1号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	紀勢線 ・ 名古屋線					
所在地	三重県津市新町一丁目				(鉄道事業者名)	東海旅客鉄道 ・ 近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)						
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	22.0	左道路	2.6	6.1	2.5	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	3.1	10.3	2.9		幅指針の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	3	右道路	3.6	6.1	3.6	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-			
	交差角(度)	75	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
	道路線形	左道路 直線		地下道	5			起点寄有り	225		
	右道路 直線	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況		通学路指定状況	有り				
			-	-							
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
			68,576								
	歩行者*トルネック踏切	○	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
		35,664				104,240					
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
			左道路	-	起点寄(左)	-	-				
			右道路	-	終点寄(左)	-	-				
				-	起点寄(右)	-	-				
				-	終点寄(右)	-	-				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-				渋滞に対する要望あり			
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置	法指定 の状況	指定年	-
	-	○	-	○	光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-		除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないこと、また隣接して歩行者用の地下道が設置されていることから、現時点で対策を行う予定はありませんが、交通誘導などを周知しつつ、今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、各鉄道事業者との協議等を進めていきます。										
備考 (協議状況等)	-										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	おおぐち ・ まつがさきだい13ごう				道路名	県道 松阪久居線				
踏切道名	大口 ・ 松ヶ崎第13号				(道路管理者名)	三重県				
					鉄道路線名	紀勢線 ・ 山田線				
所在地	三重県松阪市鎌田町				(鉄道事業者名)	東海旅客鉄道 ・ 近畿日本鉄道				
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)	 				
										
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし		
	踏切長(m)	15.0	左道路	0.0	6.0	2.0	(車両進入防護柵等)	-		
			踏切道	0.0	7.0	2.0	歩車道分離方法	コンクリートブロック		
	横断本数(本)	3	右道路	0.0	6.0	2.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				架道橋(と交差する道路)	198			終点寄有り	315	
道路線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし			
	右道路	直線	-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-		
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-		
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
		左道路	-	起点寄(左)	終点寄(左)	-	-			
		右道路	-	起点寄(右)	終点寄(右)	-	-			
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-			渋滞に対する要望あり			
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	立体交差化
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置	オーバ`-ハング` 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	H21
	-	-	-	○	光式	○	-		-	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)					
	単立(事業中)		除却 年度	H28(予定)	構造改良(対策実施)			完了 年度	H31(予定)	
今後の対策方針 対策推進上の課題	H28.3 アンダーパス部供用開始。 H28年度は、踏切を除外する予定。									
備考 (協議状況等)	H19.9 工事協定書締結(JR、近鉄) H26.3 変更工事協定締結(JR) H26.4 変更工事協定締結(近鉄)									

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	おいず ・ まつさかだい4ごう		道路名	県道 伊勢松阪線						
踏切道名	大淀 ・ 松阪第4号		(道路管理者名)	三重県						
所在地	三重県松阪市清生町		鉄道路線名	紀勢線 ・ 山田線						
			(鉄道事業者名)	東海旅客鉄道 ・ 近畿日本鉄道						
地図 (広域及び狭域)			写真 (現況及び対策後)							
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -		
	踏切長(m)	16.7	左道路	3.3	5.8	3.4	歩車道分離方法	白線・黄線		
	横断本数(本)	3	踏切道	0.0	8.2	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
			右道路	2.4	5.8	1.8		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-			起点寄有り	240	
道路線形	左道路 直線	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り		
	右道路 直線	直線	-	-	-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			-		通学路要対策踏切	-	
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)			-		事故多発踏切	-	
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			-		踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)			
		左道路 5.8	起点寄(左) 3.3	終点寄(左) 3.4	3,399	208				
		右道路 5.8	起点寄(右) 2.4	終点寄(右) 1.8						
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-		通学路となっており、登下校時に車が多く通行するため、歩道拡幅の要望がある。				
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備			法指定の状況	計画種別	構造の改良
	設置の必要性	有無	設置年度	障害物検知装置	オーバ・ハング型警報装置	大型遮断装置	二段型遮断装置		指定年	S42
	-	○	-	○	光式	-	-		対策状況(完了年)	S44
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了年度	H20		
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成25年度に、踏切付近の歩行空間のカラー舗装を実施したが、踏切部の拡幅要望が強いため、道路管理者から各鉄道事業者へ両側歩道拡幅にむけての協議を進めていく。									
備考 (協議状況等)	-									

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	かみざと				道路名		県道 矢口浦上里線					
踏切道名	上里				(道路管理者名)		三重県					
					鉄道路線名		紀勢線					
所在地	北牟婁郡紀北町上里969-2				(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)							
												
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
								(車両進入防護柵等)		-		
	踏切長(m)		7.0	左道路	0.0	6.4	1.5	歩車道分離方法		なし		
				踏切道	0.0	7.2	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-	
	横断本数(本)		1	右道路	0.0	6.7	1.8		歩道+車道2車までの拡幅の場合		-	
	交差角(度)		60	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類		距離(m)
			-		-		両方共なし			-		
道路線形		左道路	曲線		直近のBF化迂回路		距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		有り	
		右道路	直線	-		-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		-		
				-								
	自動車ボトルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-		
				-								
歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		-			
			-									
歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
			左道路	6.4	起点寄(左)	0.0	終点寄(左)	1,589		52		
			右道路	6.7	起点寄(右)	0.0	終点寄(右)					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故		0	0	-			特になし				
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別		-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年		-
	-	-	-		光式	○	-	-		対策状況 (完了年)		-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-			除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H19		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切内で歩行空間が狭くなっているが、ある程度の歩行空間は確保されており、地元からの要望等もない路線であるため、歩道の拡幅は行わない。しかし、歩行者の安全を確保するため、歩行空間であることを強調し、自動車の運転手の注意喚起を促すためにカラー舗装を検討。道路管理者より鉄道事業者へ踏切内のカラー舗装について協議を進めていく。											
備考 (協議状況等)	-											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	うどのしょうがっこうまえ				道路名	町道成川鶺殿線						
踏切道名	鶺殿小学校前				(道路管理者名)	紀宝町						
					鉄道路線名	紀勢線						
所在地	南牟婁郡紀宝町鶺殿843-3				(鉄道事業者名)	東海旅客鉄道						
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後) 							
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし				
	踏切長(m)	8.0	左道路	0.0	5.5	0.0	歩車道分離方法	なし				
			踏切道	0.0	4.2	0.0		幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-		
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	6.4	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		○(車道2車のみ)			
	交差角(度)	50	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)			
				-	-			両方共なし	-			
	道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り				
右道路		曲線	-	-	-							
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	○					
	自動車*トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-				
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和						
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
		左道路	-	起点寄(左)	-		-					
		右道路	-	起点寄(右)	-	-						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等						
	踏切事故	0	0	-		当該踏切は、紀宝町通学路安全プログラムの対策箇所として抽出されており、地域住民や学校関係者から早期の対策が強く望まれている。						
	道路交通事故	0	0	-								
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				計画種別	-		
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		法指定 の状況	指定年	H28
	-	-	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	-	除却 年度	-	構造改良(事業中)			完了 年度	H29予定			
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該踏切を利用する小中学校の通学児童・生徒の安全確保のため、踏切道を2車線に拡幅し、路肩部のカラー舗装を実施する。平成27年度より設計作業を行い、平成29年度の完成を目標に進めていく。											
備考 (協議状況等)	平成20年11月から、継続して道路管理者と鉄道事業者で調整を行った結果、平成26年12月に踏切拡幅を行う方針が決定した。平成27年度に基本設計を完了し、平成28年度に実施設計を実施中である。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いちのき ・ みやまちだいよんごう				道路名		市道 藤社御菌線						
踏切道名	一之木 ・ 宮町第4号				(道路管理者名)		伊勢市						
					鉄道路線名		参宮線 ・ 山田線						
所在地	伊勢市一之木二丁目 ・ 一之木三丁目				(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道 ・ 近畿日本鉄道						
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)								
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし			
	踏切長(m)		24.0 ・ 22.7	左道路	1.5 ・ 2.5	7.0	1.5 ・ 1.9	(車両進入防護柵等)		-			
	横断本数(本)		3	踏切道	1.5	7.0	1.5	歩車道分離方法		コンクリートブロック			
	交差角(度)		73 ・ 74	右道路	1.5	7.0	1.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-		
	道路線形		左道路 直線 右道路 直線		迂回路 (歩行者)	直近の迂回路			距離(m)		迂回路(自動車)		種類 距離(m)
										歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-	
								直近のBF化 迂回路		距離(m) BF化状況			
								通学路指定状況		有り			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		-			
	自動車*トルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多发踏切		-			
	歩行者*トルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		-			
	歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)				
			左道路	-	起点寄(左)	終点寄(左)							
			右道路	-	起点寄(右)	終点寄(右)							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等				
	踏切事故		0	0	-				無し				
	道路交通事故		0	0	-								
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別		-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年		-	
	-	・ ・ ○	-		光式	○	-	-		対策状況 (完了年)		-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}								
	-			除却 年度	-	-			完了 年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	当面の対策として道路網整備により交通の分散化を図る。												
備考 (協議状況等)	昭和49年～昭和57年 ～現在 ・ 連続立体交差事業計画を検討したが、費用面を含む多くの問題点があり、計画は未定。 ・ 事業計画については進展なし。												

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いせなかがわだい2ごう				道路名	市道中川街路2号線					
踏切道名	伊勢中川第2号				(道路管理者名)	松阪市					
					鉄道路線名	山田線					
所在地	三重県松阪市嬉野中川新町				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	整備後					
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	12.0	左道路	3.0	6.0	0.0	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	2.8	6.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	3	右道路	3.0	6.0	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	85	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路 <small>架道橋(と交差する道路)</small>	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況		起点寄有り	344		
道路 線形	左道路	直線		-	-	通学路指定状況	なし				
	右道路	直線		-	-		-				
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	○	ピーク時遮断時間(分)			41	通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネッ踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)			-	事故多发踏切	-			
	歩行者*トルネッ踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			-	踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	-	起点寄(左)	-	-	-	-			
		右道路	-	起点寄(右)	-	-	-	-			
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		なし					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
		○			光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-		除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	平成21年度		
今後の対策方針 対策推進上の課題	-										
備考 (協議状況等)	-										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ももぞのだい10ごう				道路名	県道 上浜高茶屋久居線					
踏切道名	桃園第10号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県津市久居新町				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)						
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	7.8	左道路	0.0	7.2	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	8.5	0.0		歩道のみ拡幅の場合 歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-		
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	8.0	0.0	拡幅指針 の該当		-		
	交差角(度)	87	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				駅構内自由通路	190		起点寄有り		320		
道路 線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし			
	右道路	直線		駅構内自由通路	200	片側にエレベータ等					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多发踏切	-			
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)					踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	-	起点寄(左)	-	-	-	-			
		右道路	-	起点寄(右)	-	-	-	-			
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	1	0	H23:直前横断(自動車)			渋滞対策について要望あり				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ`-`ハング` 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S46
	-	○	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	S48
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないこと、また近隣に歩行者用の迂回路があることから、現時点で対策を行う予定はありません。今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、鉄道事業者と協議を進めていきます。										
備考 (協議状況等)	協議未実施										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	みなみがおかだい1ごう				道路名		県道 家所阿漕停車場線					
踏切道名	南が丘第1号				(道路管理者名)		三重県					
					鉄道路線名		名古屋線					
所在地	三重県津市半田				(鉄道事業者名)		近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)							
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)		交通規制なし		
	踏切長(m)		8.5	左道路	0.0	6.2	0.0	歩車道分離方法		なし		
	横断本数(本)		2	右道路	0.0	6.2	0.0	幅幅指針 の該当	歩道のみ幅幅の場合		-	
									歩道+車道2車までの 幅幅の場合		-	
	交差角(度)		90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)		種類	距離(m)
											起点寄有り	400
道路線形		左道路	曲線	直近のBF化 迂回路		距離(m)	BF化状況		通学路指定状況			
		右道路	直線			-	-		有り			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		-		
	自動車*トルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-		
	歩行者*トルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		-		
	歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
			左道路	-	-	-	-	-				
			右道路	-	-	-	-	-				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故		0	0	-			渋滞に対する要望あり				
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S49	
	-	○	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	S53	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)							
	-			除却 年度	-	-			完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないこと、また近隣に迂回路があることから、現時点で対策を行う予定はありません。今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、鉄道事業者と協議を進めていきます。											
備考 (協議状況等)	協議未実施											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	しおはまだい3ごう				道路名	県道 宮東日永線					
踏切道名	塩浜第3号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県四日市市宮東町三丁目				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)						
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	18.4	左道路	3.5	8.0	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	10.3	0.0		歩道のみ拡幅の場合	-		
	横断本数(本)	3	右道路	3.5	8.0	0.0	拡幅指針 の該当		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類		距離(m)	
				-	-			起点寄有り	440		
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況			有り	
右道路	直線	-		-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
左道路			8.0	起点寄(左)	3.5	終点寄(左)		4,243	94		
右道路			8.0	起点寄(右)	3.5	終点寄(右)					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			特になし				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	S46
	-	○	-		光式	-	-		-	対策状況 (完了年)	S47
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)	完了 年度	H19					
今後の対策方針 対策推進上の課題	通学路であり、現地の状況を考慮し、歩道拡幅について協議を行っていく。										
備考 (協議状況等)	-										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	かわらまちだい1ごう				道路名	市道本郷4号線					
踏切道名	川原町第1号				(道路管理者名)	四日市市					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県四日市市陶栄町				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後) 						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	8.6	左道路	4.0	11.0	4.0	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	2.0	7.0	2.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	2	右道路	4.0	11.0	4.0	歩道+車道2車ま での拡幅の場合		-		
	交差角(度)	82	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類		
				距離(m)		116			両方共なし		
迂回路(歩行者)		直近のBF化 迂回路		距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		なし			
道路 線形	左道路	曲線		-	-	-					
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	-	起点寄(左)	-	-	-				
		右道路	-	起点寄(右)	-	-	-				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			なし				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	立体交差化	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	S49
	-	○	-		光式	○	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	連立(事業中)			除却 年度	-	-			完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成29年度末の完成を目標に連立事業を実施中であり、現在、当該踏切を除却作業中。										
備考 (協議状況等)	平成18年度に連立事業に着手。 平成29年度に連立事業完成予定。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	あくらがわだい1ごう				道路名	市道 三重橋垂坂線					
踏切道名	阿倉川第1号				(道路管理者名)	四日市市					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県四日市市城山町				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後) 						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	15.1	左道路	1.3	8.0	2.0	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	1.3	6.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	4	右道路	1.8	7.6	2.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	73	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
					-	-		両方共なし	-		
道路線形	左道路	曲線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り				
	右道路	曲線		-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多发踏切	-		
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	8.0	起点寄(左)	0.0		2.0	8,758	955		
		右道路	7.6	起点寄(右)	0.5	2.0					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-				なし			
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ`-`ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	-	○	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-		除却 年度	-	その他(対策実施)			完了 年度	H22		
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該路線は都市計画道路に位置付けられており、道路を高架化して踏切と交差する計画であるが、財政状況などから当該路線の早急な改築は困難であるため、速効対策として注意看板の設置を行うとともに、交通の状況に注視して必要に応じて対策を検討する。										
備考 (協議状況等)	速効対策として注意看板を平成22年度に設置した。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	とみだだいごう				道路名	県道 四日市鈴鹿環状線					
踏切道名	富田第1号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県四日市市富田一丁目				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)	国土地理院電子国土web				写真 (現況及び対策後)						
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	19.3	左道路	0.0	5.5	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	7.5	0.0		幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	3	右道路	0.0	5.9	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	59	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				地下道	17			起点寄有り	400		
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし				
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	○	ピーク時遮断時間(分)			40	通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)			51.627	事故多発踏切	-			
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			-	踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和	-			
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	-	起点寄(左)	-	-	-				
		右道路	-	起点寄(右)	-	-	-				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		渋滞に対する要望あり					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S63
	-	○	-		○	光式	-	-		-	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないこと、また隣接して歩行者用の地下道が設置されていることから、現時点で対策を行う予定はありません。今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、鉄道事業者と協議を進めていきます。										
備考 (協議状況等)	協議未実施										

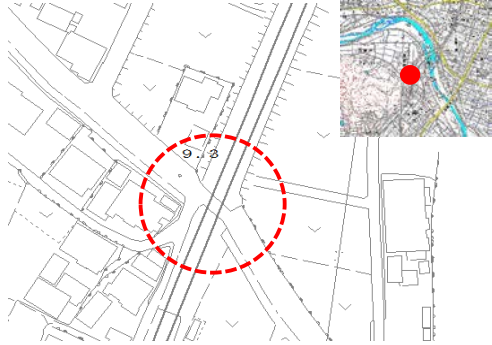

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	とみだだい3ごう				道路名	県道 四日市多度線					
踏切道名	富田第3号				(道路管理者名)	三重県					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県四日市市松原町				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)						
										国土地理院電子国土web	
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	9.5	左道路	2.5	6.7	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	7.0	0.0		幅幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	2	右道路	1.1	6.7	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	71	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共有り	160		
道路線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし				
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車*トルネック踏切	○	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多发踏切	-			
			64,333								
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
		-				-					
歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
			起点寄(左)	終点寄(左)							
			起点寄(右)	終点寄(右)							
左道路	-	-	-	-	-	-					
右道路	-	-	-	-	-	-					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		渋滞に対する要望あり					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ`-`ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S42
	-	○	-		○	光式	-	-		-	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路幅において通行に支障となっていないことから、現時点で対策を行う予定はありません。今後、渋滞等の状況に応じて対策が必要と判断した場合には、道路管理者が検討を行い、鉄道事業者と協議を進めていきます。										
備考 (協議状況等)	協議未実施										




※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いせあさひだい2ごう				道路名		市道桑部東金井2号線					
踏切道名	伊勢朝日第2号				(道路管理者名)		桑名市					
					鉄道路線名		名古屋線					
所在地	三重県桑名市東金井				(鉄道事業者名)		近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(対策前) 					
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
	踏切長(m)		9.8	左道路	2.5	7.5	0.0	(車両進入防護柵等)		-		
	横断本数(本)		2	踏切道	0.0	3.7	0.0	歩車道分離方法		なし		
	交差角(度)		69	右道路	0.0	7.5	2.5	幅員指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-	
	道路線形		左道路 直線	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-	
			右道路 直線		直近のBF化 迂回路		距離(m)		BF化状況		-	
							迂回路(自動車)		種類		距離(m)	
							通学路指定状況		両方共なし		-	
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		-		
	自動車*トルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多发踏切		-		
	歩行者*トルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		-		
	歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
			左道路	10.0	2.6	2.6	1,804		100			
			右道路	10.0	2.6	2.6						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-				地元要望なし			
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別		-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ`-`ロング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年		-
	-	○	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)		-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)							
	-			除却 年度	-	-			完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	通過交通は並行する県道桑名川越線を利用し、本市道は地元中心の生活道路である。踏切事故も発生しておらず、抜本対策である踏切の拡幅については今後の交通状況を勘案し検討する。											
備考 (協議状況等)	-											

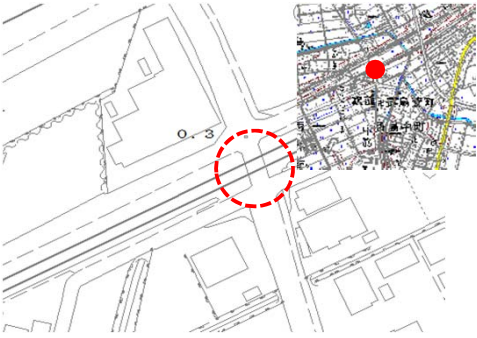

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ますおだい4ごう			道路名	市道桑名本郷1号線							
踏切道名	益生第4号			(道路管理者名)	桑名市							
				鉄道路線名	名古屋線							
所在地	三重県桑名市中央町一丁目			(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道							
地図 (広域及び狭域)				写真 (現況及び対策後)				(対策前)				
								交通規制		二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止		
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	(車両進入防護柵等)	-				
	踏切長(m)	8.9	左道路	0.0	2.0	0.0	歩車道分離方法	なし				
			踏切道	0.0	1.5	0.0	拡幅指針の該当	歩道のみ拡幅の場合	-			
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	1.5	0.0		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-			
	交差角(度)	90	迂回路(歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)			
				跨線橋	116				両方共なし	-		
	道路線形	左道路		直線	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし			
右道路		直線		-	-	-						
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-				
	自動車ホトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	○			
	歩行者ホトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
			-				-					
歩道狭隘踏切	-	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)						
			起点寄(左)	終点寄(左)		-	-					
			起点寄(右)	終点寄(右)								
左道路	-	-	-	-	-	-						
右道路	-	-	-	-	-	-						
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年: 事故履歴			地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	3	0	H21, H22: 直前横断(軽車両) H23: その他(軽車両)			地元要望なし					
	道路交通事故	0	0	-								
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備				法指定の状況	計画種別	-	
	設置の必要性	有無	設置年度		障害物検知装置	オーバ-ハング型警報装置	大型遮断装置	二段型遮断装置		指定年	-	
	-	○	-		○	-	-	-		対策状況(完了年)	-	
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}								
	-	除却年度	-	歩行者立体(調整中)				完了年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切から150m程度、桑名駅側に立体交差(歩行者・自転車)通路を計画中であり、供用の際には踏切事故の減少が考えられる。											
備考 (協議状況等)	平成27年度から桑名駅自由通路の設置について、桑名市と鉄道事業者で協議を実施。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ながしまだい2ごう				道路名	市道 間々国道線					
踏切道名	長島第2号				(道路管理者名)	桑名市					
					鉄道路線名	名古屋線					
所在地	三重県桑名市長島町西外面				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前) 					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	9.1	左道路	1.3	6.4	1.5	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	5.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-		
	横断本数(本)	2	右道路	1.6	5.7	2.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-			
	交差角(度)	78	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共なし	-		
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
右道路	直線	-		-	-	-	-	-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)			自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
左道路			起点寄(左)	終点寄(左)	-						
			右道路	起点寄(右)		終点寄(右)					
		6.4	1.3	1.5	2,016	434					
		5.7	1.6	2.0							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			通学路指定や近隣に老人福祉施設があることから、小中学生や高齢者の通行が多く、地元・PTA等から歩道拡幅の要望がある。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	H28
	-	○	-		○	光式	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-			除却 年度	-	構造改良(事業中)			完了 年度	H28予定	
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成27年度～平成28年度で踏切内歩道部の拡幅工事を施工し、平成28年度内に危険箇所が解消される。										
備考 (協議状況等)	平成27年度から踏切拡幅(歩道設置)工事に着手。 平成28年度に事業完了予定。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	みっかいちだい6ごう				道路名	市道 甲斐道伯線					
踏切道名	三日市第6号				(道路管理者名)	鈴鹿市					
					鉄道路線名	鈴鹿線					
所在地	三重県鈴鹿市算所五丁目				(鉄道事業者名)	近畿日本鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前) 					
						(現況)カラー舗装実施(H22) 					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	4.9	左道路	2.4	7.0	1.8	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	1.1	8.0	1.8		幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	1	右道路	2.3	7.4	1.9	迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
	交差角(度)	70	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			通学路指定状況	両方共なし	-	
	道路 線形	左道路		直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況		有り		
右道路		直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多发踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		-		
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	7.0	2.4	0.0	15,224	299				
		右道路	7.4	2.3	0.1						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	2	0	H21：側面衝撃(二輪車), H25：側面衝撃(自動車)		なし					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	S54
	-	-	-		光式	-	-		-	対策状況 (完了年)	S54
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除外する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)						
	-	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H22		
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該踏切は、西側と東側の両側に歩道があり、東側は前後の歩道より少し狭いが、歩行者のたまり場も確保され、車道に関しましては、必要幅員は確保されています。また、平成22年度には、カラー舗装の速効対策を実施しており、今後、注意喚起の路面標記・標識等を検討していきたい。										
備考 (協議状況等)	平成22年度に速効対策としてカラー舗装を実施。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。